

研究課題名	食道 ESD に関する多施設後ろ向き観察研究
研究期間	承認日から 2031 年 3 月 31 日まで
研究の概要	食道粘膜下層剥離術（ESD）を受けた患者さんのデータを後ろ向きに調査し、解析を行います。
研究の背景・目的	食道 ESD の治療成績と安全性に使用デバイスが与える影響を明らかにすること。
研究の対象	2007 年 9 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の間に、名古屋大学医学部付属病院消化器内科および関連施設（当院含む）において食道 ESD を受けた患者さんです。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、内視鏡所見、臨床経過、病理組織診断結果等
研究方法	電子カルテより患者さんの臨床経過と内視鏡所見、病理組織所見を含む検査データを調査し、食道 ESD の治療成績と安全性に関して評価を行います。
研究における医学倫理的配慮	本研究データからは、患者さん本人を直接特定できる情報（お名前など）を削除して匿名化しますので、患者さんを特定することはできません。 また、この研究成果については、学会や学術雑誌などをで発表する場合がありますが、その場合でも、上記の通り匿名化しておりますので、患者さんのプライバシーは守られます。
研究の利用範囲	論文や学会発表に利用する予定です。
研究組織	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学
研究責任者	川嶋啓揮
問い合わせ先	電話番号：0562-744-2172
当院担当者	公立西知多総合病院 消化器内科 鈴木悠土 電話番号：0562-33-5500